

2	今月の話題「第6次総合振興計画」
4	報告「2月13日福島県沖地震」
6	特集「10Years 震災10年の栞」
10	いいたて百景「10年目のスナップ」
12	お知らせのページ「暮らしの情報」
14	ほけんとふくし「百歳体操のコツ」
16	いいたて便り
18	話題のパレット
19	そのころはっ／おすすめ図書
20	おしらせのページ
21	入札結果
22	いいたてDIARY／ラオス通信。
23	ふるさと資源／ひとのうごき
24	HOPES（ホープス）

4月発効！第6次総合振興計画

「ふるさとの担い手」の新たなスタートライン

新しいふるさとを
創っていきましょう！

「飯館村第6次総合振興計画」に基づくふるさとづくりがスタートします。

総合振興計画は、ふるさとづくりの長期的な目標、村政運営の基本を示す計画で、各分野における指針ともなります。

村は、大震災以降、「いいたてまでの復興計画」に基づき復興事業を進めてきました。続く新たな計画については、令和元年から話し合いを重ね、さら

にはアンケートや地域別懇談会を実施。現状にマッチした、未来につながる計画を練り、計画書は昨年9月に完成しました。

この計画の実施期間は、令和3年度からの5年間です。一人を取り組めるものから、村に関わるみんなで取り組むものまで、いろいろなアイデアが盛り込まれました。4月からの発効に合わせて、全世帯に計画のダイジェスト版を配付する予定です。



策定委員会は、村民・有識者・役場職員などで構成されました。（令和元年9月）

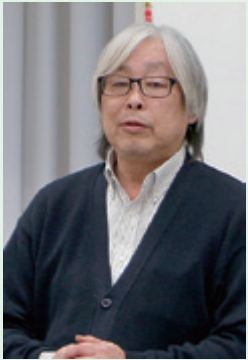


4つの部会が各分野で話し合いを進め策定委員会に中間報告。（令和2年1月）



多くの人と計画を共有して動き出そう

旗を振っても、集まってくれる人がいなければ、計画は動き出しません。一つひとつの項目は、いろいろな人に参加していただき、こそ、成り立っていくものです。たくさんの思いをこめたこの計画を、どこに住まいがあっても村の皆さんと共有していくこと、さらには子ども達にどう伝えていけるかが、とても大切です。



鈴木 典夫 さん

飯館村第6次総合振興計画策定委員会委員長。福島大学行政政策学類長。全村避難中は「福島大学災害ボランティアセンター」の顧問として仮設住宅などで長期の支援を行っていただきました。



策定委員の皆さんが村民の目線で課題を語り、ふるさとの未来を思い描いて計画にアイデアを盛り込みました。



お散歩から帰るつぼみ組さん



今月の表紙

季節はずれの暖かさとなった2月22日、「までの里のこども園」を訪ねると…子ども達のかわいらしい笑顔が、園庭にあふれていました。子どもは村のたからもの。震災後に生まれた子ども達が、こうして元気に毎日を過ごし、すくすく成長していることは、私達みんなの大きな「希望」です。